

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ポノはなお		
○保護者評価実施期間	2026年1月 5日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所が認定こども園内に併設されているため、クラス担任と密になって連携を取り支援につなげることができます。	定期的にクラス担任と連携会議を行い、利用児の課題について話したり情報を共有しています。	お子様の特性に合わせた声かけ・環境調整・関わり方の統一を行い、園全体で同じ対応ができるようにしていきます。
2	園の集団環境を活かしながら、個別支援と集団支援を自然に結びつけられます。	園(クラス)の活動に合わせて、支援員がクラスに入ったり事業所での個別支援を行ったり臨機応変にたいおうしています。	個別支援で育てたスキルを園の集団活動でかつようできるように、担任と連携して実践の場面を意図的に設定していきます。
3	園と事業所が同じ場所にあることで保護者が情報をまとめて受け取りやすく、送迎のタイミングで気軽に相談ができ安心感があります。	保護者と送迎時にその日あったことやお子様の様子などを詳しくお話したり、相談を受けたりしています。	今後もお子様と保護者の気持ちに寄り添い、共感し悩みに合わせてご家庭でも取り組みやすい支援方法を考えて助言してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	園の行事や活動に引っ張られて、行事前は個別支援の時間が確保しにくい。	「園全体の動き」と「児童発達支援の専門性」を両立させるための仕組みが弱いように感じる。	年間行事計画の早期共有や事前の調整を行い、行事前後でも行事と個別支援が両立できるよう体制を整えていきます。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。	保育園のお子様を利用しているため、保護者が就労で忙しく時間が取れない方が多い。	短時間で参加できる面談やオンラインでの相談機会の設定等、保護者が無理なく関わられる方法を取り入れ、負担の少ない関わり方を工夫していきます。
3			